

JGN イベント利用報告書

イベント番号(イベント-185)

提出日 2006 年 11 月 29 日

(1)イベント名

四国 JGN セミナー ～四国ブロードバンド環境での研究・利活用事例～

(2)イベント概要

平成 18 年 11 月 22 日、愛媛県松山市「メルパルク MATSUYAMA」において、四国総合通信局、JGN 四国連絡協議会、四国リサーチセンター主催により「四国 JGN セミナー～四国ブロードバンド環境での研究・利活用事例～」を開催いたしました。

本セミナーでは、JGN を利用しての研究をされている方々の中から 2 名(2 プロジェクト)、それから、今後プロジェクトを立ち上げる予定の方から研究についての発表を行いました。

研究発表において、JGN にて東京・松山・徳島・高知・福井の各大学と結びマルチ画面で研究発表を行い、また、松山・小金井間において、JGN 初となる音楽と芸術のコラボレーションを行いました。

【日時等】

平成 18 年 11 月 22 日(水) 13:30～16:20

【場所】

愛媛県松山市 メルパルク MATSUYAMA

【主催等】

主催 四国総合通信局、JGN 四国連絡協議会、四国リサーチセンター

後援 愛媛大学、四国情報通信懇談会、エフエーシステムエンジニアリング(株)、キャノンマーケティングジャパン(株)、アライドテレシス(株)、(株)アーネット

【プログラム】

基調講演：「地域ブロードバンド環境における JGN の利活用について」

独立行政法人 情報通信研究機構 連携研究部門テストベッド推進グループ

リーダー 豊田 麻子氏

研究事例発表

・「地域が自立・自律してインターネットを運用するための技術の実証的な研究」

高知工科大学助教授 菊池豊

・「高精細動画コンテンツのマルチキャスト配信に関する研究」

電気通信大学教授 三木哲也

共同研究者

愛媛大学(遠隔出演)

徳島大学(遠隔出演)

高知工科大学

福井大学(遠隔出演)

エフエーシステムエンジニアリング株式会社

特別企画(JGN プロジェクトトライアル)

・「遠隔高精細度伝送映像音と芸術のコラボレーションに関する研究開発」

スタジオトリノ主宰 西村記人

【出席者数】

松山 72 名 東京(小金井) 23 名

(3) JGN 利用の概要

メルパルク MATSUYAMA をメイン会場に、愛媛大学・徳島大学・高知工科大学・電気通信大学・福井大学と結び事例発表を行うとともに、プロジェクト開始前ですが、トライアルとして「遠隔高精細度伝送映像音と芸術のコラボレーションに関する研究開発」を行うこととして、L2ユニキャストにて各拠点間と接続いたしました。

(4)申請者

四国総合通信局

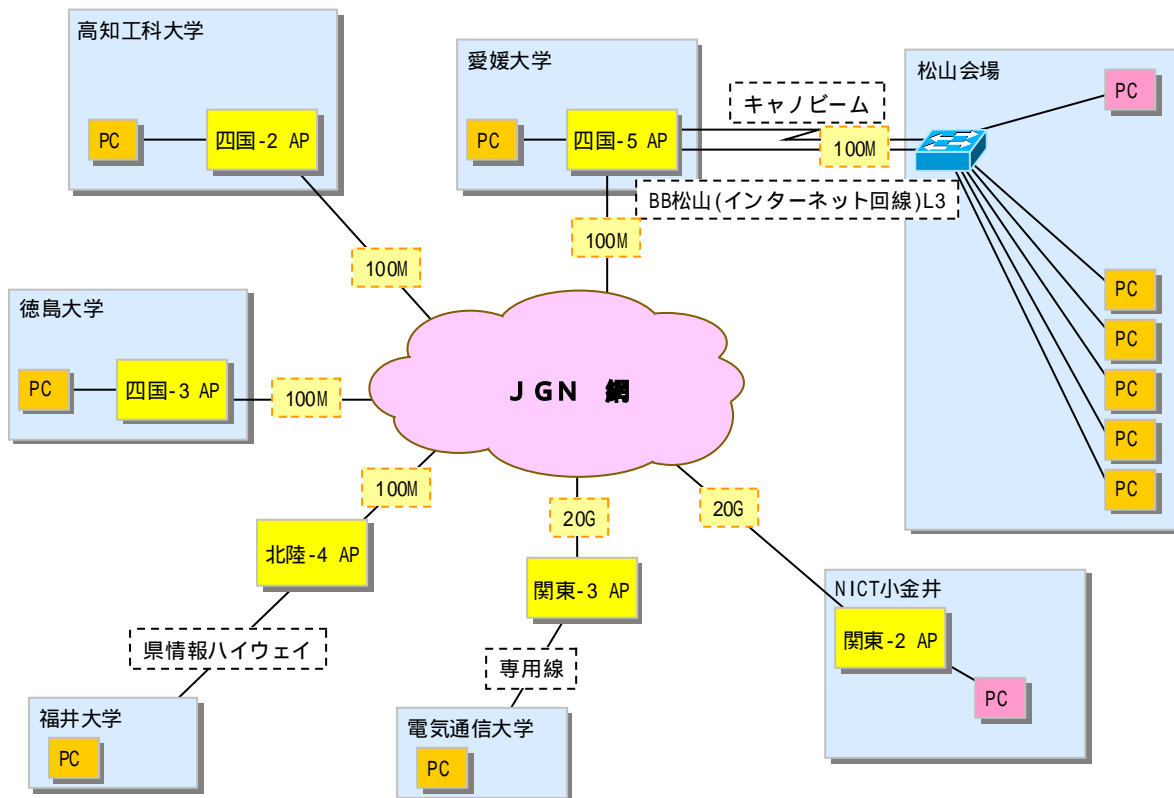
(5)イベントの利用にかかる連絡窓口

四国総合通信局

(6)トポロジ(NW 及び機器構成詳細)

ア. 接続概念図

四国 JGN セミナー ネットワーク構成: L2(L3)/uni-cast



(7)実施の評価

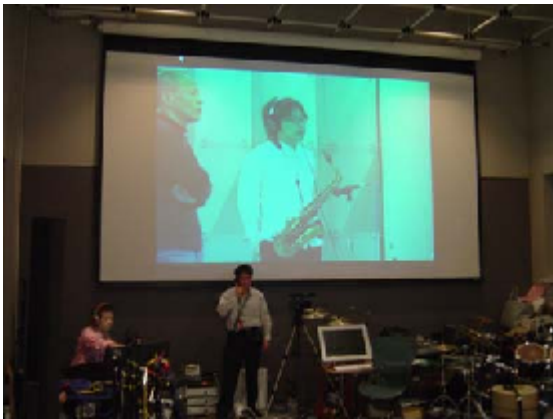
今回 JGN を利用する場面として、5 大学との接続によるマルチ画面 TV 会議と、松山 - 小金井間での音楽と芸術のコラボレーションを行いました。

特に音楽と芸術のコラボレーションにおいては初のことで、松山と小金井の両地で楽器演奏を行い、それを聞きながら芸術家が絵を描きあげるといったもので、当初通信機器の性能から音にずれ(遅延)が発生することは予想されていましたが、無事ライブにてプログラムは終了し、今後ブロードバンドを利用したコンテンツ流通のアプリケーションとしての可能性を見出せたかと思われま。

松山会場



スタジオトリノ
東京(小金井 リハーサル風景)



松山(本番風景)

